

報道関係各位

三菱地所株式会社
社会福祉法人東京コロニー

障がいのある子どもたちの絵画コンクール 「第 22 回キラキラッとアートコンクール」開催 ～7 月 14 日（金）より募集開始～

三菱地所株式会社は、障がいのある子どもたちの絵画コンクール「第 22 回キラキラッとアートコンクール」（後援：文部科学省・全国特別支援学校長会）の作品募集を 7 月 14 日（金）より開始します。

「キラキラッとアートコンクール」は、障がいのある子どもたちの可能性を応援したいとの思いから、国内初の障がい者アートライブラリー「アートビリティ※」を運営する社会福祉法人東京コロニーの協力を得て 2002 年にスタートし、今年度は 22 回目の開催となります。今までこのコンクールに参加してきた子ども達が社会に巣立っていき、現在アートビリティの登録作家として 27 名が活躍するなど、子どもたちの才能を支援してまいりました。

※アートビリティ…1986 年に社会福祉法人東京コロニーが設立した、所得支援や社会参加を目的とした障がい者アートライブラリー。
現在約 200 名の作家による約 6,000 点の作品がストックされ、印刷物等の媒体に貸し出されています。

毎年、個人・団体を問わず全国各地から応募をいただき、前回は 1,006 作品（38 都道府県）の応募がありました。

22 回目となる今回は、7 月 14 日（金）～9 月 19 日（火）の期間中に応募された作品から、審査会を経て優秀賞 50 作品を選出、11 月 24 日（金）に表彰式をオンラインで開催し、賞状と記念品を贈呈する予定です。その後、優秀賞作品展を 2023 年 11 月から 2024 年 2 月にかけて、全国 9 会場（札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡）で順次開催予定です。尚、全応募作品は、ホームページにて公開します。（キラキラッとアートコンクール 公式サイト：<https://kira-art.jp/>）

また、今回よりコンクール参加関係者との交流、コミュニケーション促進を企図して、SNS による情報発信を開始いたしました。情報発信に関しては、自らも障がい当事者として障がい分野の課題解決に取り組んでいる起業家の小野克樹氏が主宰する運営チームと連携して、コンクールをより楽しんでいただけの情報を定期的に発信してまいります。

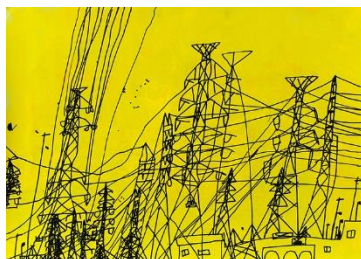
本コンクールの応募作品はこれまで、様々な企業の冊子の表紙やカレンダーなどに使用されています。子どもたちの感性にあふれたのびやかな作品は、審査会、作品展、作品使用等を通じて、多くの方に感動を与えています。

三菱地所では、本コンクールが子どもたちの優れた才能を評価・発掘される機会になるとともに、子どもたちが絵を描く楽しみや喜びを増し、芸術活動の裾野が力強く広がることを願い、応援してまいります。

【第 21 回キラキラッとアートコンクール優秀賞受賞作品より】※年齢は応募時のもの



「虹色チンパンジー」
くぼたはるいち さん(12 歳)



「まちのでんせん」
いがらしたいし さん(6 歳)



「ペンギン家族」
まついあやね さん(9 歳)



「はたらく人」
いなもりゆうき さん(17 歳)

■開催概要（予定）

- 名 称 : 第 22 回キラキラッとアートコンクール
- 応募資格 : 何らかの障がいのある応募年齢 18 歳までの幼児・児童・生徒
- 応募作品 : テーマは自由。
水彩、油画、版画、ドローイング（パステル、鉛筆）、切り絵、墨絵などの平面表現の作品。用紙サイズは最大で 509mm×660mm（小全紙）を厳守、最小サイズは A4 サイズ程度のもの。厚さ※5mm 以内。油絵の場合は F12 キャンバス（500mm×606mm）以内の作品。
※台紙に貼った作品は、台紙を含めたサイズ及び厚さ
- 応募期間 : 2023 年 7 月 14 日（金）～9 月 19 日（火）16:00 必着
- 優秀賞決定 : 1 次審査・一般審査※・本審査を経て優秀賞 50 作品を決定（10 月下旬）
※大丸有（大手町・丸の内・有楽町）エリアの就業者・来街者による投票
- 表彰式 : 2023 年 11 月 24 日（金）オンライン開催予定
賞状と記念品を贈呈
- 優秀賞作品展 : 2023 年 11 月～2024 年 2 月
全国 9 会場（札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡）の三菱地所グループが運営管理するビル・商業施設等で順次開催予定
（札幌）マルヤマ クラス （仙台）泉パークタウン タピオ
（東京）丸ビル （横浜）ランドマークプラザ
（名古屋）大名古屋ビルヂング （大阪）OAP タワー
（広島）ひろしま美術館（協力：公益財団法人ひろしま美術館）
（高松）高松空港 （福岡）マークイズ福岡もち
※会場は都合により変更になる場合があります。
- 作品公開 : 優秀賞の発表および全応募作品の公開は、ホームページ上で実施（11 月中旬）
- 審査員 : O JUN 氏（画家、東京藝術大学名誉教授）
青柳 路子氏（東京藝術大学准教授、教育研究者）
西田 克也氏（西田克也デザインオフィス グラフィックデザイナー）
高橋 宏和氏（社会福祉法人東京コロニー アートビリティ代表）
眞島 哲也氏（株式会社スタートライン 街プロジェクト担当）
中島 篤 （三菱地所株式会社 執行役社長）
野口 玲一 （三菱一号館美術館 上席学芸員）



公益社団法人企業メセナ協議会による芸術・文化振興による社会創造＝メセナの認定制度「This is MECENAT2023」を取得

■第 21 回（2022 年度）キラキラッとアートコンクールの様子



1 次審査



一般審査



本審査



オンライン表彰式



優秀賞作品展（東京）



（関連企画）体験型ワークショップ

■参考

【三菱地所グループにおける展示】

展示会に留まらず、三菱地所本・支店およびグループ会社の会議室等の主要な空間に、コンクール優秀賞受賞作品を展示しております。



三菱地所本店



グループ会社

【「大丸有 SDGs ACT5」との連携】

「キラキラっとアートコンクール」は、大丸有エリアを起点に SDGs 達成に向けた活動を推進する「大丸有 SDGs ACT5」の1テーマである「ダイバーシティ&インクルージョン」と連携し、大丸有エリアの就業者・来街者に鑑賞・評価して頂く審査会を開催予定です。この審査会に参加いただいた方には大丸有 SDGs ACT5 が展開する SDGs の各アクションに参加したときと同様に、「ACT5 メンバーポイント」を付与する予定としています。



＜大丸有 SDGs ACT5 とは＞

大丸有エリアに拠点を置く企業が集まり、SDGs 目標期限 2030 年の 10 年前にあたる 2020 年 5 月に発足しました。大丸有エリアを起点として、企業間連携による SDGs 活動の相乗効果を検証し、SDGs モデル都市の構築を目指します。「サステナブルフード」「環境」「ひとと社会の WELL」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」の 5 つの ACT（テーマ）を設定しています。

2021 年度より、大丸有エリア内で行われる個人の SDGs アクションにアプリによって「ACT5 メンバーポイント」を付与する仕組みを導入しています。

大丸有 SDGs ACT5 公式サイト：<https://act-5.jp/>



＜応募に関するお問合せ先＞

キラキラっとアートコンクール事務局

（社会福祉法人東京コロニー アートビルティ内）

TEL：03-5988-0523（平日 10:00～16:00）